

PORTS

OF

OSAKA

PREFECTURE



第35回海の写真コンクール 大阪府知事賞・大阪府港湾協会賞
[花を見ながら：大坂 府]

TOPICS

- 大阪府営港湾セミナー(東京)開催 1
- 堺泉北港湾事務所 新事務所へ移転 1
- 防潮堤陸間の電動化工事に着手しました 2
- 10回目となったテロ対策総合訓練 4
- 堺第7-3区共生の森づくり活動報告 6
- プレジャーボート(放置艇)の対策について 8
- アドプト・シーサイド・プログラムのご紹介
～平成25年度認定第2号(第14弾「アドプト・シーサイド・きららの海を守る会」)～ 8

EVENT

- 港湾施設見学会を開催 9
- 第40回堺港まつり開催 9
- 堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施 9

PORT NEWS

- 港湾人材育成セミナー開催 ―ロジスティクス・システムの設計と演習― 10
- 貿易実務セミナー開催 10
- WELCOME!世界からのお客様 11
- ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～ 11

INFORMATION

- 在阪国家機関等に対する要望活動 12

大阪府の みなと

2014.01
No.106

PORTS of OSAKA PREFECTURE

No.106 大阪府港湾協会



「大阪府のみなと」へのご意見・ご感想及び広告の募集

大阪府港湾協会では「大阪府のみなと」へのご意見・ご感想をお待ちしております。併せて「大阪府のみなと」への広告掲載も募集しております。ご意見・ご感想や広告掲載に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

大阪府港湾協会

住所：〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1
堺泉北港ポートサービスセンタービル10階
TEL.0725-21-7203 FAX.0725-21-7259
E-mail: o-kyoukai@circus.ocn.ne.jp



C·O·N·T·E·N·T·S

TOPICS

大阪府営港湾セミナー(東京)開催	1
堺泉北港湾事務所 新事務所へ移転	1
防潮堤陸間の電動化工事に着手しました	2
10回目となったテロ対策総合訓練	4
堺第7-3区共生の森づくり活動報告	6
プレジャーボート(放置艇)の対策について	8
アドプト・シーサイド・プログラムのご紹介 ～平成25年度認定第2号!第14弾「アドプト・シーサイド・きららの海を守る会」～	8

EVENT

港湾施設見学会を開催	9
第40回堺港まつり開催	9
堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施	9

PORT NEWS

港湾人材育成セミナー開催 ーロジスティクス・システムの設計と演習ー	10
貿易実務セミナー開催	10
WELCOME!世界からのお客様	11
ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～	11

INFORMATION

在阪国家機関等に対する要望活動	12
-----------------	----

TOPICS

大阪府営港湾セミナー(東京)開催

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府営港湾の特徴やメリット等を紹介・PRし、首都圏の企業の利用促進を図るために、大阪府港湾協会及び堺泉北港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会とともに、東京において大阪府営港湾セミナーを開催しました。

セミナーでは、堺泉北港における内航RORO・フェリー定期航路や中古車輸出拠点機能の紹介と阪南港を含めた事業用地について紹介を行いました。

また、セミナー翌日にはポートセールスを実施し、船社・荷主等15社を訪問しました。

開催日…平成25年11月25日(月)

開催場所…ベルサール八重洲

参加人数…81名

〈内容〉

- 開会挨拶 大阪府港湾局 局長 井上 博睦
- 府営港湾の紹介 大阪府港湾局 次長 河野 敬太郎
- 事例紹介 「RORO船モーダルシフト活用事例」
協同運輸(株) 執行役員東京支店長 石塚 明道 氏
- 事業紹介 「大王海運(株)の主な取扱貨物」～実例のご紹介～
大王海運(株) 定期船事業部 営業部 営業一課 榎本 光 氏
- 講演 「自動車運送事業の安全安心の確保について」
国土交通省 関東運輸局 自動車監査指導部
自動車監査官 本江 幸一 氏

主催 大阪府港湾局・大阪府港湾協会・堺泉北港湾振興連絡協議会
阪南港港湾振興連絡協議会

協力 大王海運(株)・八興運輸(株)・堺泉北埠頭(株)



井上港湾局長



堺泉北港湾事務所 新事務所へ移転

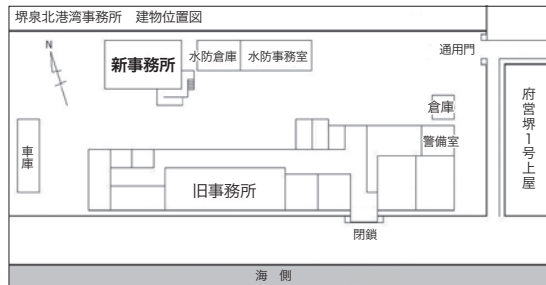
大阪府港湾局堺泉北港湾事務所

旧事務所は、昭和28年以降順次建築され、これまで長年にわたり堺泉北港の港湾施設等の建設、維持管理の拠点として利用されてきました。しかし、建築後約60年が経過し、老朽化による雨漏りや床のたわみ、耐震性等の問題が生じていました。そこで、平成25年の夏から同敷地内で新事務所の建築に取り掛かり、12月に完成しました。新事務所は、1階建て、床面積約400㎡で、高潮でも床上浸水しないように高床式構造となっています。

平成25年12月9日(月)から新事務所での業務を開始していますので、係船料や水域占用許可申請等の手続きは、新事務所へお越し下さい。(住所や電話番号の変更はありません。)

なお、新事務所への移転に併せて、旧事務所の出入口は閉鎖していますので、海側からの出入りはできなくなっています。来られる際には、事務所東側の通用門から、お入り下さい。

これからも、堺泉北港湾事務所を宜しく御願います。



防潮堤陸閘の電動化工事に着手しました

はじめに

大阪府の海岸は、神話の舞台として登場し、古事記によれば神功皇后が難波の津から出陣されたと伝えられています。中島川河口を北端として、和歌山県境まで緩やかな弓状を描いて南西に走る約230kmの海岸線は、数々の伝説を生む美しい風景を展開していました。

しかし明治維新以後、殖産興業、昭和の高度成長期を経て泉州海岸は昔の面影を失っていきます。

また、大阪湾は、しばしば台風が通過するうえ湾口が南を向いているため高潮の発生頻度が高く、高潮災害にも何度か見舞われました。

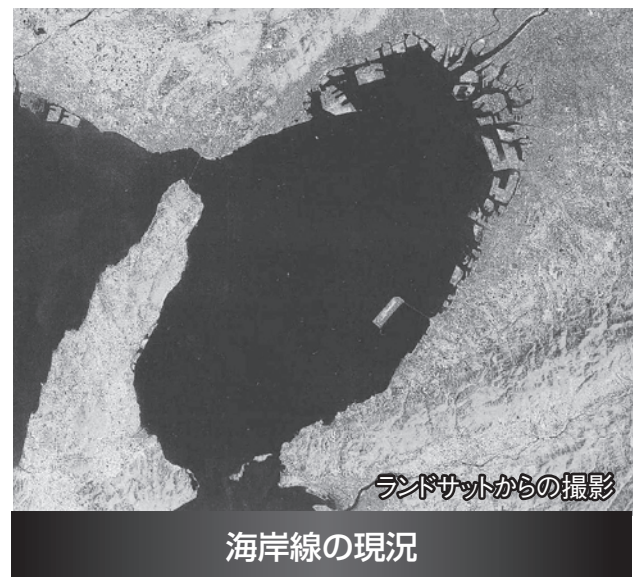
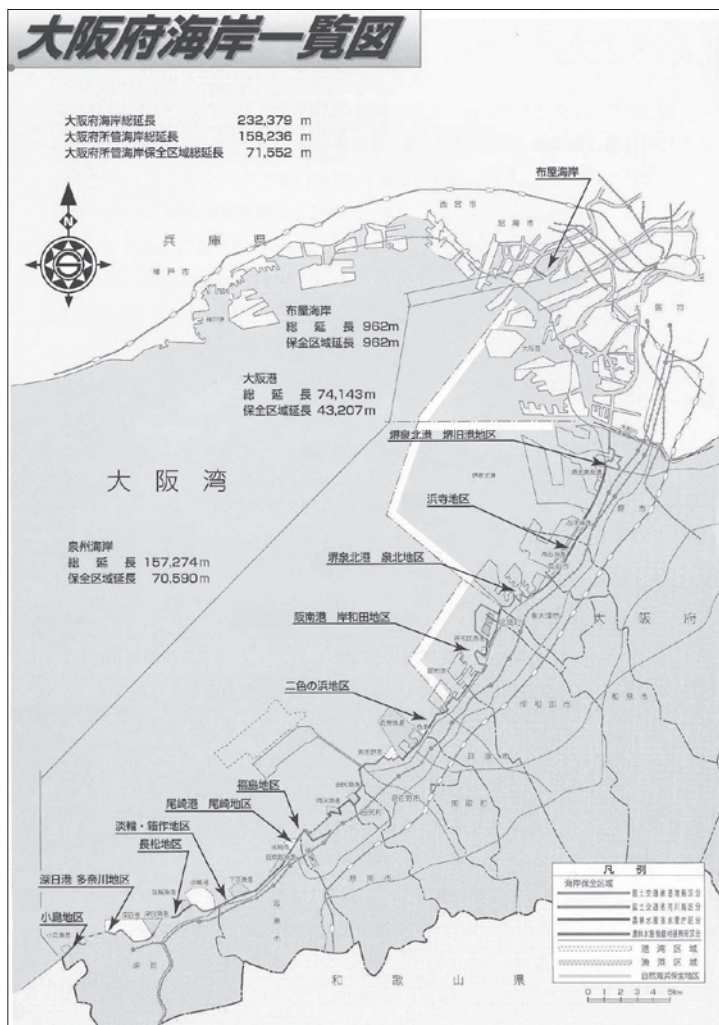
東日本大震災以後、東海・東南海・南海地震をはじめ、全国で大規模地震の切迫性が指摘されており、それに伴い、巨大津波の発生も懸念されています。

今年8月、大阪府は新津波シミュレーションによる浸水想定図を公表しました。この被害は、水門、陸閘が閉められなかった場合を想定しています。

東日本大震災では、多くの消防隊員、消防団員の方が、お亡くなりになりました。そのうち「水門等の閉鎖」に関わって、お亡くなりになった方は30%もおられ、その人数は、59名にも及びます。

大阪府港湾局では、いち早く水門、陸閘を閉鎖し、安全な場所へ退避することを目的とし、水門の遠隔操作化、陸閘の電動化工事を行っています。

今回、ご紹介するのは、平成25年度中に電動化する防潮堤に備え付けられている陸閘のうち重量が重く、長大な陸閘54基であります。



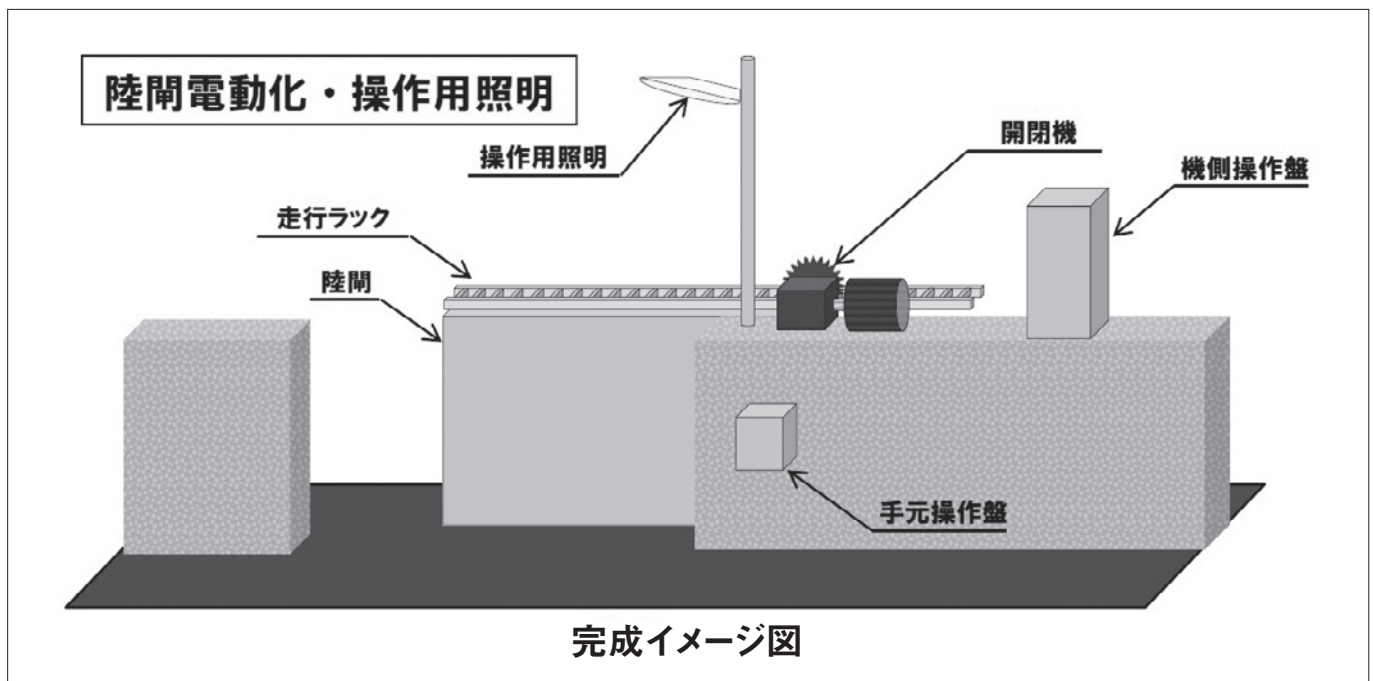
～ことば～

「陸閘」とは、内陸部と港湾地区、漁港地区を結ぶ産業道路、生活道路が防潮堤を横切る場所に設ける陸のゲートです。通常は車両などの通行を確保するため開放してありますが、高潮時や津波の到来の恐れがあるときには道路を閉鎖して、海水の浸入を防ぎます。

工事の概要

先ず初めに、大型クレーン車で既設陸閘を撤去し、工場へ搬送します。

この図のように、工場で走行ラックと開閉機を取り付け、再度、現地に据え付けます。



仮設の手動陸閘

陸閘が工場で電動化されている期間は、仮の手動陸閘を製作し、現地に据えておきます。(約1か月)

通常時は、開放しておきます。

工事は非台風期(11月から3月末)の間、主に、民間企業が休日の日及び平日の深夜に行います。

平成25年11月から3月末まで、大阪府の海岸のいたるところで、このような工事を行っています。

近隣企業の皆様、防潮堤付近で営業をされている皆様には、ご迷惑をおかけするかと存じますが、安全には細心の注意を払い施工いたしますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

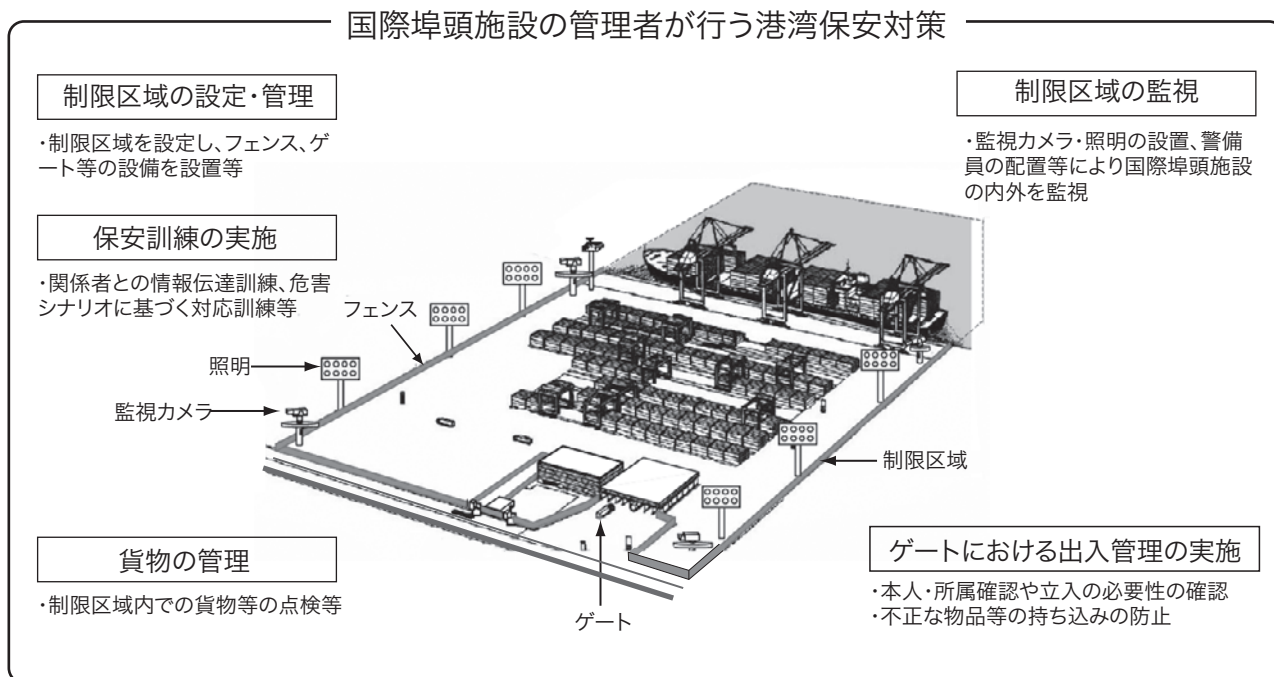
10回目となったテロ対策総合訓練

訓練の意義

平成13年9月11日の米国同時多発テロ事件を契機とした「改正SOLAS条約(海上人命安全条約)」に基づき施行された「国際船舶・港湾保安法」により、テロ防止のため国際埠頭施設とその前面水域での総合訓練が義務化されました。

堺泉北港では毎年2千隻余り、阪南港では100隻前後の外航船が入港しており、両港の保安委員会では、港湾局、海上保安署、警察署、税関、入国管理局、検疫所など各機関の連携・対応状況を確認し、さらなる連携と事案対処能力の向上を図るため、それぞれテロ対策総合訓練が毎年実施されています。

今年は、天候不順により阪南港での訓練が中止となりましたが、堺泉北港では以下のとおり訓練が実施されました。



堺泉北港テロ対策総合訓練

平成25年11月13日(水)、政府機関や民間バス管理者や港運事業者等で構成された堺泉北・阪南港保安対策協議会による大規模な情報伝達訓練に続き、翌14日(木)には、第10回堺泉北港テロ対策総合訓練が、船艇9隻、車両5台、人員100名の参加の下、今年4月に供用開始した夕風1号岸壁を会場に実施されました。

今回の訓練には、新たに地元泉大津警察署や堺海上保安署の新造巡視艇「みのお」の参加に加え、4か国語での注意喚起放送や保安レベル2での出入管理、監視システムを駆使した侵入阻止などの演習メニューが取り入れられ、10回目を飾るに相応しい訓練となりました。

訓練は、内閣官房水際危機管理チームから「堺泉北港に入港する貨物船にテロリストが潜伏している。」との情報に基づき、堺泉北港危機管理担当官(堺海上保安署)の緊急参集要請に呼応したコアメンバー機関で、現地合同指揮所が開設されました。合同指揮所では、各機関トップによる状況報告や対応協議が具体的に行われましたが、同時にその全容がスピーカーを通して、参加者に届けられ、緊迫感のある訓練スタートとなりました。

対応協議を踏まえ、巡視艇・警察官等による警戒強化、テロリスト乗船船艇の追跡・制圧、制限区域侵入未遂者の緊急配備・確保、テロリスト発見のための身体検査や入国審査、不審物のX線検査など、多様な内容が統率よく実施されました。

参加者一人一人の真剣な取り組みが、本番さながらの訓練シーンを生み出し、迫力あるパフォーマンスを発揮しました。とりわけ、日常、現場業務に携っている保安警備員には、緊急時の対応を研鑽できた貴重な実践の場となりました。

また、丁寧な広報アナウンスで一つ一つの演習内容や流れが伝えられ、見学に来られた臨海部のエネルギー関連バス管理者から、事案対処から関係機関の連携のあり方までを総合的に確認できたとの感想も寄せられ、訓練目的を十分果たすものとなりました。



港湾保安委員長挨拶



各機関トップによる対応協議



不審プレジャーボート追跡



着岸岸壁の警戒



入国審査



逃走者の制圧



船員の身体検査



ショットガン検査で爆弾発見

訓練協力に対して(保安委員会からの御礼)

訓練に際しまして、船舶航行調整いただきました船社、代理店、ポートラジオなどをはじめ、タグボートを提供いただきました大阪府タグ事業協同組合、埠頭作業を休止いただきました港運事業者など、関係各位ならびに紙面提供いただきました大阪府港湾協会には、格別のご理解とご協力を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。(敬称を省略させていただきました。ご容赦ください)

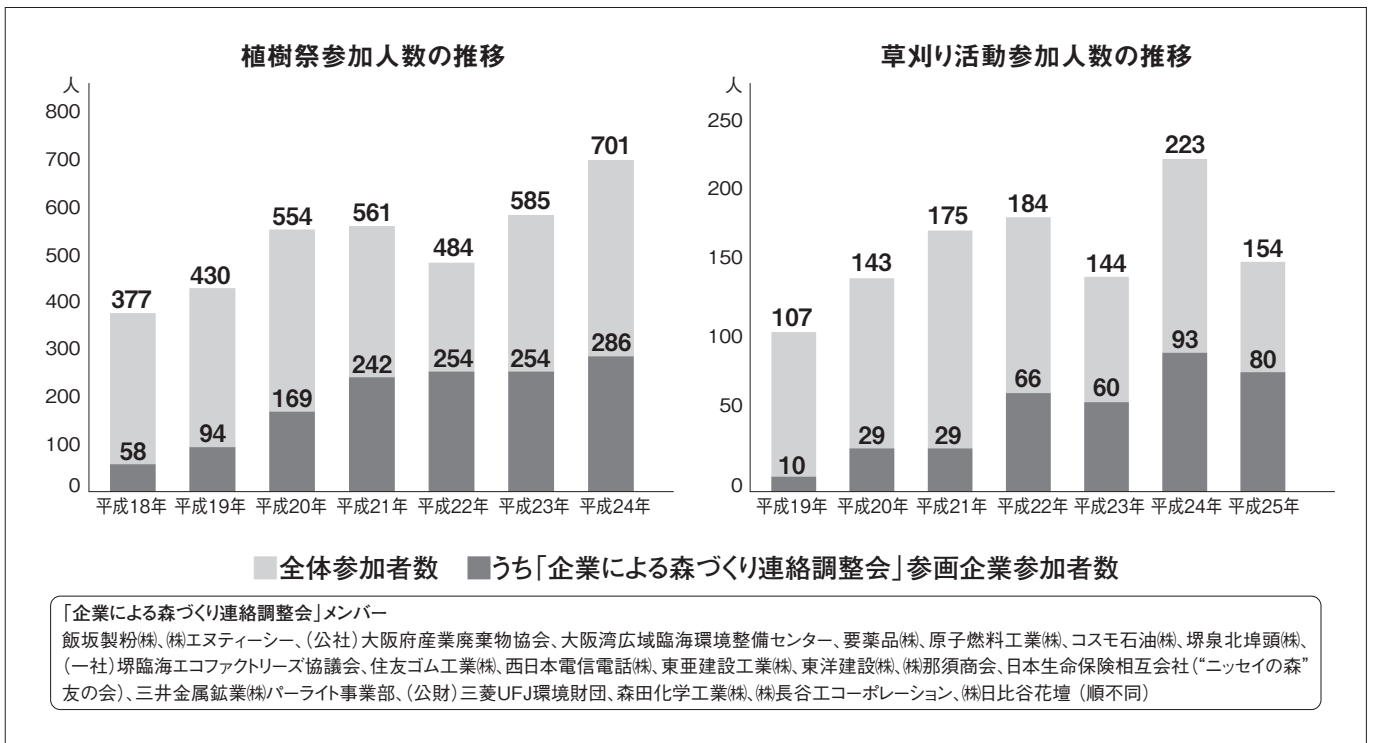
堺第7-3区共生の森づくり活動報告

「みんなで草刈り活動 苗木たちを元気に!」を開催しました

大阪府では、港湾局と環境農林水産部みどり・都市環境室、循環型社会推進室が一体となって、堺第7-3区(堺市西区築港新町)において森づくりを進めており、府民の方、企業、NPO法人などが力を合わせ、これまでに多くの苗木を植えてきました。10回の植樹祭で植栽した苗木の本数は約2万1千本となりましたが、植樹後1～3年目の苗木は、苗木に日が当たるよう草刈り活動を行わなければ大きく育ちません。平成25年9月21日(土)、府民の方、企業団体の方あわせて154名の皆様が参加し、3月に植樹を行った区画で草刈り活動を行い、数十センチもある雑草の中に埋もれてしまった苗木を1本1本救出しました。

平成25年3月の植樹祭には700名もの参加をいただきましたが、草刈り活動の参加者は100～200名で推移しており、年々増加する植栽面積に対し、草刈り作業をする人手が足りていません。府民の皆様、企業の皆様の更なる参加、協力が必要とされています。下記グラフが示すように、植樹祭、草刈り活動とも、企業の皆様による参画が大きくなっています。港湾局では「企業による森づくり連絡調整会」を設け、企業の皆様による共生の森づくり活動を推進していますので、参加をご希望の企業の皆様からのご連絡をお待ちしています。

■9月21日草刈り活動写真



企業による森づくり連絡調整会

港湾局では「企業による森づくり連絡調整会」を設け、20の企業・団体の皆様の参画のもと、共生の森づくり活動を推進しています。環境活動に力を入れたい、CSR活動の一環として取組みたい、などをお考えがございましたら、港湾局までご連絡下さい。(企業による森づくり連絡調整会事務局(港湾局計画グループ0725-21-7353))

NTT西日本(西日本電信電話株)による植樹活動、自然体験学習の実施

平成25年10月27日(日)には、共生の森で活動されているNTT西日本によるN山の区画(約1,200㎡)において植樹活動が行われました。5回目となる植樹会は、小椋副社長による開会宣言の後、副社長と社員の方々による記念植樹を行い、NTT西日本の社員や家族101名の方々が380本の苗木を植えられました。午前中の植樹会終了後、公益社団法人大阪自然環境保全協会参画のもと、府主催の植樹祭で植樹した木々の観察や自然体験学習を行いました。



長谷工グループによる植樹活動、木工教室学習の実施

平成25年11月24日(日)には、6月に新たに協定を結び、共生の森での活動を始めた長谷工グループによる初めての植樹活動(1,375㎡)が行われました。(株)長谷工コーポレーション・長谷川関西代表による開会宣言、関西代表と社員の家族の方々による記念植樹が行われた後、(株)長谷工コーポレーションをはじめグループ各社の社員や家族130名の方々が420本の苗木を植えられました。植樹活動終了後には、社員やその家族の皆様の参加による木工教室の開催や、府主催の植樹祭で植樹した木々の生長を観察されました。



第11回共生の森植樹祭の開催

平成26年3月1日(土)に第11回共生の森植樹祭を開催します。植栽規模5,000㎡、参加定員500名を予定しています。

詳細は、NPO法人大阪府民環境会議ホームページ・共生の森づくりのページ(<http://www.npo-open.org/kyouse/>)をご覧ください。

プレジャーボート(放置艇)の対策について

大阪府港湾局プレジャーボート対策チーム

大阪府港湾局では、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓として、津波発生時における二次的な被害を防止するために、平成23年7月、港湾局内に「プレジャーボート対策チーム」を設置し、放置艇対策の強化に取り組んでいます。

なお、港湾局が管理しています港湾区域には、約280隻(平成22年10月現在)の「放置艇」が確認されています。そのうち、阪南港(3区から5区)には放置艇が116隻あり、放置艇全体の約4割を占めていたことから、「プレジャーボート対策チーム」としては、まず、この区域を重点的に取り締まることとしました。

具体的な取組みとしては、まず、現地での段階的な貼り紙、船舶所有者への手紙の送付、自宅訪問指導などを行いました。特に、粘り強く何度も所有者に自主撤去を指導した結果、阪南3区では15隻あった船舶のうち14隻を自主撤去させることができました。そのうえで、平成24年10月2日・10日から12日(4日間)には、阪南3区において大阪府で初めて港湾法による代執行を実施し、船舶1隻及び梯子、浮棧橋などの工作物の撤去を行いました。

この作業については、テレビ、新聞でも取り上げていただいたことから、対岸の阪南4区において約90隻あった放置艇が、代執行前後で約30隻が自主撤去するという波及効果を生み出しました。残った約60隻についても早期の自主撤去について粘り強く指導を繰り返した結果、徐々にではありますが減らしていくことができました。その積み重ねの結果、平成25年10月28日から31日(4日間)には、船舶17隻(うち8隻沈没)及び浮棧橋等の工作物(約40ヵ所)を対象とする大規模な港湾法による代執行(大阪府として3回目)を実施しました。その結果、現在、7隻の船舶(所有者と早期撤去を交渉中)を残すのみとなり、この2年間で約100隻の放置艇を撤去することができました。

なお、阪南港以外にも深日港深日地区(平成25年3月7日)及び堺泉北港堺旧港地区(平成25年12月11日)においても港湾法による代執行を実施し、所有者不明の船舶や工作物を撤去しています。

今後も、港湾区域の適正な管理並びに南海トラフ巨大地震に伴う津波対策のために、放置艇対策に取り組んで参ります。



アドプト・シーサイド・プログラムのご紹介

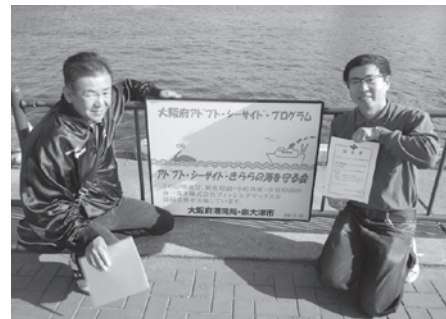
～平成25年度認定第2号!第14弾「アドプト・シーサイド・きららの海を守る会」～

大阪府港湾局経営振興課施設運営グループ

大阪府港湾局では、(株)フィッシングマックスの皆さまを、14番目のアドプト・シーサイド『アドプト・シーサイド・きららの海を守る会』として、平成25年10月25日(金)に認定いたしました。(株)フィッシングマックスの皆さんは、堺泉北港泉大津地区の6岸壁の各1部を幅広く清掃して下さる予定で、活動も週2回とかなりの頻度で取り組んでいただけるとのことで、港湾局としましても岸壁の美化・保全の面で非常に感謝しております。

今年度は、港湾局として初めてとなる年間3つ目のアドプト・シーサイドのお話もいただいており、平成26年2月までには認定できる運びとなりそうです。港湾局としましても、このようにアドプト活動が広がり、府民・事業者の皆さまに海岸・港湾環境の保全への関心が高まっていることを心強く思っております。

今後も、府民のみなさまと協力し、より一層の環境保全に取り組み、『笑働』の輪を広げて行きたいと考えているところです。今後とも、より一層のご協力をよろしくお願いいたします。



EVENT...

港湾施設見学会を開催

高石港湾振興会

高石市立全7小学校の4年生を対象に、堺泉北港の港湾施設の見学会を開催しました。

この見学会は、堺泉北港を日頃目にするのでできない船上から見学することで、港湾事業に対する興味をもってもらうことを目的として、高石港湾振興会が大阪府港湾局と大阪水上警察署の協力を得て毎年実施しています。

当日は、大阪府港湾局巡視船「はまでら」に乗船して、大阪府港湾局担当者、高石市職員からの説明を児童たちは興味津々で聞き入っていました。

また、船上からは、港に集められた木材チップ・中古車、阪九フェリー、大阪ガスLNGタンク、ガントリークレーン等の大きな船舶や港湾施設を見学でき大満足といった感じでした。

【開催日】

9月	3日(火)	清高小学校4年生	59名	
9月	5日(木)	高石小学校4年生	47名	
9月	6日(金)	加茂小学校4年生	105名	
9月	10日(火)	東羽衣小学校4年生	110名	
9月	11日(水)	羽衣小学校4年生	80名	
10月	1日(火)	取石小学校4年生	83名	
10月	4日(金)	高陽小学校4年生	114名	計598名



平成25年11月3日(日)、第40回「堺港まつり」を堺市堺区出島漁港「とれとれ市」に於いて開催いたしました。当日は雨模様にもかかわらず、延べ1,200名とたくさんの方々にお越しいただきました。

小学生以下を対象とした大声大会では、堺海上保安署のご協力により優勝者を1日船長として、参加者とともに巡視艇「しぎかぜ」に乗船し、体験航海を楽しんでいただきました。また、来場者の皆様にも、丸高渡船のご協力により体験航海を実施し、沖では堺海上保安署の消防船「みのお」の放水展示や普段あまり見る事のない堺泉北港の景色を堪能していただきました。

他にも、バルーンショーや迫力のある和太鼓演舞などのステージショーで、まつりを盛り上げていただき、似顔絵コーナーでは行列が出来るなど、堺港まつりを盛大に終えることが出来ました。

ご支援、ご協力をいただきました堺市漁業協同組合連合会をはじめ、堺海上保安署や当日出演いただきました皆様、そして当日早朝よりお手伝いいただきました、堺港湾振興会会員企業の皆様に、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



平成25年10月30日(水)～11月1日(金)、九州電力・玄海エネルギーパーク、佐賀県伊万里港湾施設において、堺泉北港地元港湾振興会(泉大津、堺、高石)合同視察を実施いたしました。

全日程、事務局を含め43名の参加があり、九州電力・玄海エネルギーパークにおいては、日本における原子力発電の必要性と最近の状況、また東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故が、何が原因でどのようにして起きたのか、この事故を教訓にどのような対策を行っているのか等の説明を受けることができ、本視察への参加者があらためて原発について考える貴重な機会になったのではないのでしょうか。

また、佐賀県伊万里市内に移動し、佐賀県伊万里土木事務所の田久保事務所長、井上港湾課長より伊万里港の概要等を説明していただき、その後、伊万里港コンテナターミナル等を視察し、有意義な視察内容となりました。

最後に、今回の合同視察にご参加いただきました方々、またご協力いただきました関係機関の皆様には本紙面をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。



港湾人材育成セミナー開催 —ロジスティクス・システムの設計と演習— 大阪府港湾協会

大阪府港湾協会では、実務能力向上の一助とさせていただくため、協会の会員を対象に、第1回港湾人材育成セミナー「ロジスティクス・システムの設計と演習」を開催いたしました。

本セミナーは、港湾職業能力短期大学校神戸校より藤井正明氏を講師としてお招きして開催し、1日目は8名、2日目は7名の方にご参加いただきました。

講義は、ロジスティクス・システムについての基本的な説明だけではなく、システム設計の実践とはどうするのかなどの演習の時間もあり、実務に直結した内容でした。2日目には国内にとどまらず、国外にも目を向けたグローバルロジスティクスの設計についての講義も行われました。

受講生からは、「物流に対して新しい知識を得ることができた」「同じような機会があれば、また参加したい」との感想が寄せられました。

また、平成26年2月13日(木)と14日(金)に、第2回港湾人材育成セミナー「実務者に必要な国内物流と国際物流の知識」を開催する予定です。

◆日時：平成25年11月27日(水)、28日(木) 9:30～16:30

◆会場：堺泉北港ポートサービスセンタービル2階 201・202会議室



貿易実務セミナー開催

堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会

堺泉北港港湾振興連絡協議会と阪南港港湾振興連絡協議会では、港湾関連企業及び団体を対象に、下記のとおり貿易実務セミナーを開催しました。

貿易について体系的に学んでいただくため、「入門編」「基礎編」では、貿易の基本的な流れや輸出入の手続きについて、「経済連携協定／三国間編」では、EPA/FTAの基本と特定原産地証明、三国間貿易においてのモノとカネの流れなどについて、より実践的な内容を取り上げて講義を実施しました。受講された方々は、熱心に聞き入っておられました。

受講後のアンケートでは、「実例をもとにした講義で、とても理解しやすかった」、「今後の実務効率の向上につながった」との評価をいただき、皆様の貿易実務能力の向上にお役立ていただけたと考えております。

- ◆ 講師：中矢 一虎氏 (国際法務㈱代表取締役)
- ◆ 会場：堺泉北港ポートサービスセンタービル2階 201・202会議室
- ◆ 開催時間：9:30～16:30

入門編	平成25年12月17日(火)	参加者:17名
基礎編	平成25年12月18日(水)	参加者:16名
経済連携協定/三国間編	平成25年12月19日(木)	参加者:14名



中矢一虎氏

WELCOME!世界からのお客様

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

■2013年12月11日(水)大阪府港湾局訪問

グリーンアワード財団(オランダ)

理事長 ヤン・フランセン 氏(Mr.Jan Fransen)

職員(認証担当) 篠原 啓太 氏

このたび、オランダよりグリーンアワード財団が、大阪府港湾局を訪問されました。

グリーンアワード財団は、1994年にオランダ・ロッテルダム市港湾局及びオランダ運輸省によって設立され、独立の非営利組織として、クオリティシッピング(安全かつ環境に配慮した船舶)への認証を行うための審査・提供にかかる活動や、同基準を満たした船舶に対して優遇措置を与えるよう、港湾管理者に対し協力を求める啓発活動などを行っています。

今回の来日では、日本国内の主要な港湾を来訪される中で、大型タンカーやLNG船の入港がある重要な港湾のうちの一つとして、堺泉北港に来訪されました。同財団の環境・安全活動等に関する事業活動の報告、港湾管理者としての優遇制度の導入推進等について普及啓発されました。

ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～ 大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府港湾局では、府営港湾の公共埠頭に初めて入港する船舶に対し、大阪府港湾協会や地元市港湾振興会と協力して、初入港記念楯及び地元市からの記念品の贈呈等を行っています。

CHANG DA LONG

(19,684総トン)

平成25年10月9日(水)

堺泉北港汐見埠頭

汐見第5号岸壁

貨物船(RORO船)



菱明丸

(1,061総トン)

平成25年10月21日(月)

阪南港出光第2号栈橋

アスファルト運搬船



WOODSIDE GOODE

(103,928総トン)

平成25年12月4日(水)

堺泉北港堺LNGセンター LNG栈橋

LNG専用船



INFORMATION

在阪国家機関等に対する要望活動

府営港湾の整備促進のために、関係国家機関等に対して、下記のとおり要望活動を行いました。

要望先と要望事項については下表のとおり

実施日	要望事項	要望先
平成25年10月21日(月)	府営港湾の整備、維持管理等に関する要望	大阪府知事
平成25年10月28日(月)	体験航海行事のための巡視船派遣の継続	第五管区海上保安本部長・大阪海上保安監部長
平成25年11月11日(月)	大和川へのゴミの不法投棄取締り強化及び河川敷のゴミの除去清掃について	近畿地方整備局長・近畿地方整備局 大和川河川事務所長
平成25年11月18日(月)	深日港における航路再開に向けた支援	近畿運輸局長
平成25年11月22日(金)	深日港の「みなとオアシス」登録について	近畿地方整備局長